

第2回検討準備委員会
平成27年3月31日（火）

I.第2回検討準備委員会 概要

会議名	第2回日野市歯とお口の健康づくり基本計画検討準備委員会	
日時	平成27年3月31日(火) 19:00~21:00	
場所	生活・保健センター 1階 予防接種室	
出席者氏名	座長	尾崎 哲則
	委員	高品 和哉、塩谷 武洋、五十里 一秋、池本 澄江、 宮沢 和美、横川 恭子、大泰司 正嗣、重山 直毅、 関 健史
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 資料確認 3 第1回議事要旨について 4 資料説明及びディスカッション <ol style="list-style-type: none"> (1)乳幼児期 <ol style="list-style-type: none"> ①むし歯予防の推進 ②保護者に対する知識の普及啓発 ③食育の推進 (2)学齢期 <ol style="list-style-type: none"> ①むし歯や歯周病予防の推進 ②児童・生徒・保護者に対する知識の普及啓発 ③歯磨き習慣の定着、正しい食生活の育成 5 事務局より連絡 	
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・(資料1) 第1回委員会議事要旨 ・(資料2) 食品表示法の概要 ・(資料3) 日野市歯とお口の健康づくり基本計画 計画の柱(案) ・(資料4) 日野市歯とお口の健康づくり計画検討準備委員会の流れ ・(資料5) 乳幼児期の現状 ・(資料6) 歯科治療受診勧奨用紙 ・(資料7) むし歯5本フォローについて ・(資料8) 日野人げんき! プラン評価 ・(資料9) 学齢期の現状 	

Ⅱ.検討結果

【乳幼児期】

(1) むし歯予防の推進

(ア) むし歯のある子どもに対するフォローについて（5本むし歯フォロー）対象者の拡大や支援体制の充実について議論された。

(2) 保護者に対する知識の普及啓発

(ア) 子どもの口腔ケアを行う際に、保護者が意識してフッ素入り歯磨剤を選択することが、子どもの健康を考えることにつながるとの意見があった。

(イ) 子ども自身ではお口の健康を維持することが難しいため、かかりつけ歯科医による定期検診や保護者の仕上げみがきが重要であるとの意見があった。

(3) 食育の推進

(ア) 食育を通じて自分の口で噛み砕いて飲み込む習慣を身につけさせることが重要であると議論された。

【学齢期】

(1) むし歯や歯周病予防の推進

(ア) 日野市では歯科医会会員のほとんどが校医であるため、学校歯科医とかかりつけ歯科医の連携が可能であることが確認された。

(イ) 子どもが一番関心のあることを題材に健康教育をしていくことが有効であるとの意見があった。

(2) 児童・生徒・保護者に対する知識の普及啓発

(ア) 歯科医会での保育園・幼稚園や小・中学校での取り組みについて説明があった。

(イ) 学校歯科健診後の治療勧告用紙の通知方法や対象者について検討することが、今後の学校歯科保健教育の充実につながるとの意見があった。

(ウ) 学校と学校歯科医の連携をより強化することで、口腔からの生活習慣形成、禁煙、がん対策などのアプローチにつながるとの意見があった。

(3) 歯磨き習慣の定着、正しい食生活の育成

(ア) 学校と家庭(地域)が連携し健康教育を推進することが重要であるとの意見があった。

(イ) 甘味飲料やイオン飲料の摂取による口腔や身体へのリスクについて啓発が必要であるとの意見があった。

(ウ) 噛む力が落ち、口の筋肉が弱まっているため口を開けて息をしている子どもが多く、噛む力や口の周りの筋肉をつけるトレーニングの必要があるとの意見があった。

Ⅲ. 検討結果の経緯

(1) むし歯予防の推進

(ア) むし歯のある子どもに対するフォローについて（5本むし歯フォロー）対象者の拡大や支援体制の充実について議論された。

5本むし歯フォローについて

歯科健診（1歳6か月児歯科健診、3歳児歯科健診）の結果で、ハイリスク児（むし歯5本以上）に対し、歯科衛生士が電話連絡等で歯科治療したかどうかの確認及び相談・助言を行っている。治療または管理中はフォロー対象者からはずしている。歯科医院に繋がっていることを確認後、フォロー終了となる。

※第2期げんきプランでは目標値 平成27年度90%

<現状>

	23年度	24年度	25年度
1歳6か月児健診	2	0	0
3歳児健診	23	26	23
合計	25	26	23
フォロー対象数(フォロー必要)	25	12	18
フォロー数	17	8	13
フォロー率	68%	67%	72%

- 平成26年度では、電話が繋がらない場合、手紙を送付し連絡を促したが返答が無かった。反応がなくとも粘り強く支援することが、後の学齢期での口腔の健康につながるとの意見があった。
- 5本以上むし歯があるということは、ネグレクトの可能性がある。健康課だけではなく他部署と連携し総合的なフォロー体制の構築が必要であるとの意見があった。
- むし歯がある1歳6か月児やむし歯が3本以上ある3歳児については全員フォローすること。3歳児でむし歯が1～2本の場合は、1回でも電話連絡を行うなどのフォロー対象者の見直しを検討すべきであると意見があった。

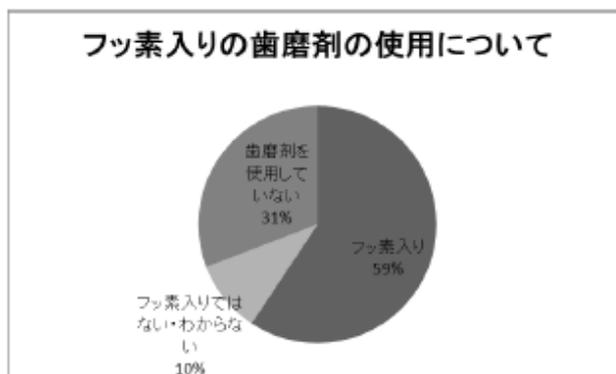
(2) 保護者に対する知識の普及啓発

(ア) 口腔ケアを行う際に、保護者が意識してフッ素入り歯磨剤を選択することが、子どもの健康を考えることにつながるとの意見があった。

◎フッ素入り歯磨剤の使用について

3歳児健診でフッ素入り歯磨剤を使用しているのは59%であり、東京都の歯科保健目標の70%以上を下回っている。

フッ素入り	912
フッ素入りではない フッ素入りかわからない	151
歯磨剤を使用していない	474



【都民の知識と行動指標 1】

※いい歯東京 より

フッ化物配合歯磨剤を使用している者の割合を増加させる。

○フッ化物配合歯磨剤を使用している者の割合

	目標
3歳	70%以上

【資料】幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査報告(平成21年度)

➤ 乳幼児用の歯磨剤のほとんどはフッ素が配合されている。

(2) 保護者に対する知識の普及啓発

(イ) 子ども自身ではお口の健康を維持することが難しいため、かかりつけ歯科医による定期検診や保護者の仕上げみがきが重要であるとの意見があった。

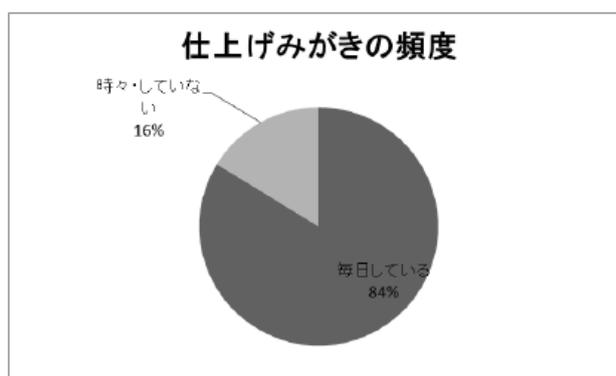
②保護者に対する知識の普及啓発

※平成 25 年 1 歳 6 か月健診・3 歳児健診アンケートより

◎仕上げみがきの頻度について

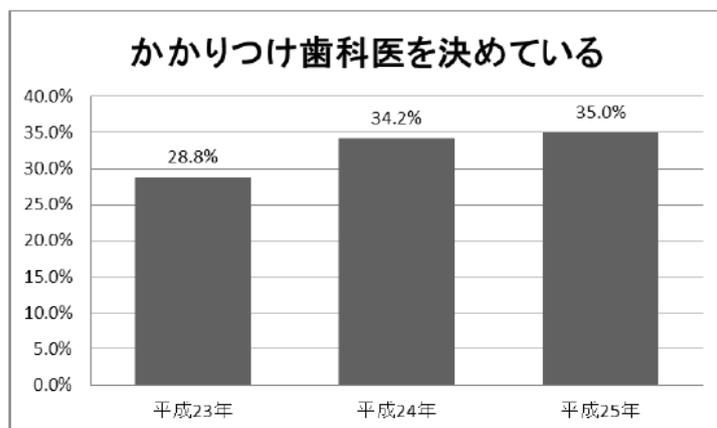
1 歳 6 か月健診時での仕上げみがきの頻度は毎日行っている者が 84%である。

毎日している	1181
時々・していない	229
受診者数	1410



◎かかりつけ歯科医を決めているかどうか

かかりつけ歯科医を決めている者は増加傾向にあり、平成 25 年度では 3 歳児健診で 35%の子どもがかかりつけ歯科医を決めている。



【都民の知識と行動指標 4】

かかりつけ歯科医を持つ者の割合を増加させる。

○かかりつけ歯科医を持つ者の割合

	目標
3歳	60%以上

【資料】幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査報告(平成21年度)

- 乳幼児期から正しい生活習慣を確立することが、学齢期における適切な生活習慣の基盤になるとの意見があった。

(3) 食育の推進

(ア) 食育を通じて自分の口で噛み砕いて飲み込む習慣を身につけさせることの重要性について議論された。

- 卒乳の遅れや離乳食完了の遅れのある子どもの食べることにに関する問題点について指摘された。
- 哺乳瓶う蝕が増加している現状について意見があった。
- 保育園の現状として、噛めない、丸のみ、刻み食、固いものが食べられない、偏食等の食べることに問題のある子どもが多くなっていることを実感しているとの意見があった。
- 適齢期に正しく「噛む」ということを習得しなければ、後の口腔機能に影響を与えるとの意見がだされた。
- 食育は栄養バランスだけではなく咀嚼等も含まれるとの意見があった。
- 食育に関する周知啓発が必要であるとの意見があった。

【学齡期】

(1) むし歯や歯周病予防の推進

(ア) 日野市では歯科医会会員のほとんどが校医であるため、学校歯科医とかかりつけ歯科医の連携が可能であることが確認された。

- 他市では学校歯科医と地域のかかりつけ歯科医との連携がとれていないところもあるとの意見があった。
- 他市では半数程度しか歯科医会の会員が校医でないこともある。

(1) むし歯や歯周病予防の推進

(イ) 子どもが一番関心のあることを題材に健康教育をしていくことが有効であるとの意見があった。

- 中学生ではプラークコントロール不良と、特に女子においては月経などの女性ホルモンの影響で、歯肉炎が増加する。
- 中学生のむし歯は男女間で差が出る。女子は成長が早いため永久歯の萌出が早く、男子に比べ永久歯のむし歯が多い。
- 南多摩保健医療圏域において、日野市の学齢期における歯肉の状態は悪い。しかし、他市に比べ健診時の判断基準が厳しく歯肉の状態が悪いということではないことが確認された。
- 公益社団法人日本学校保健会の調査では、中・高校生の歯をみがく1番の理由が虫歯予防、次に口臭の予防であった。

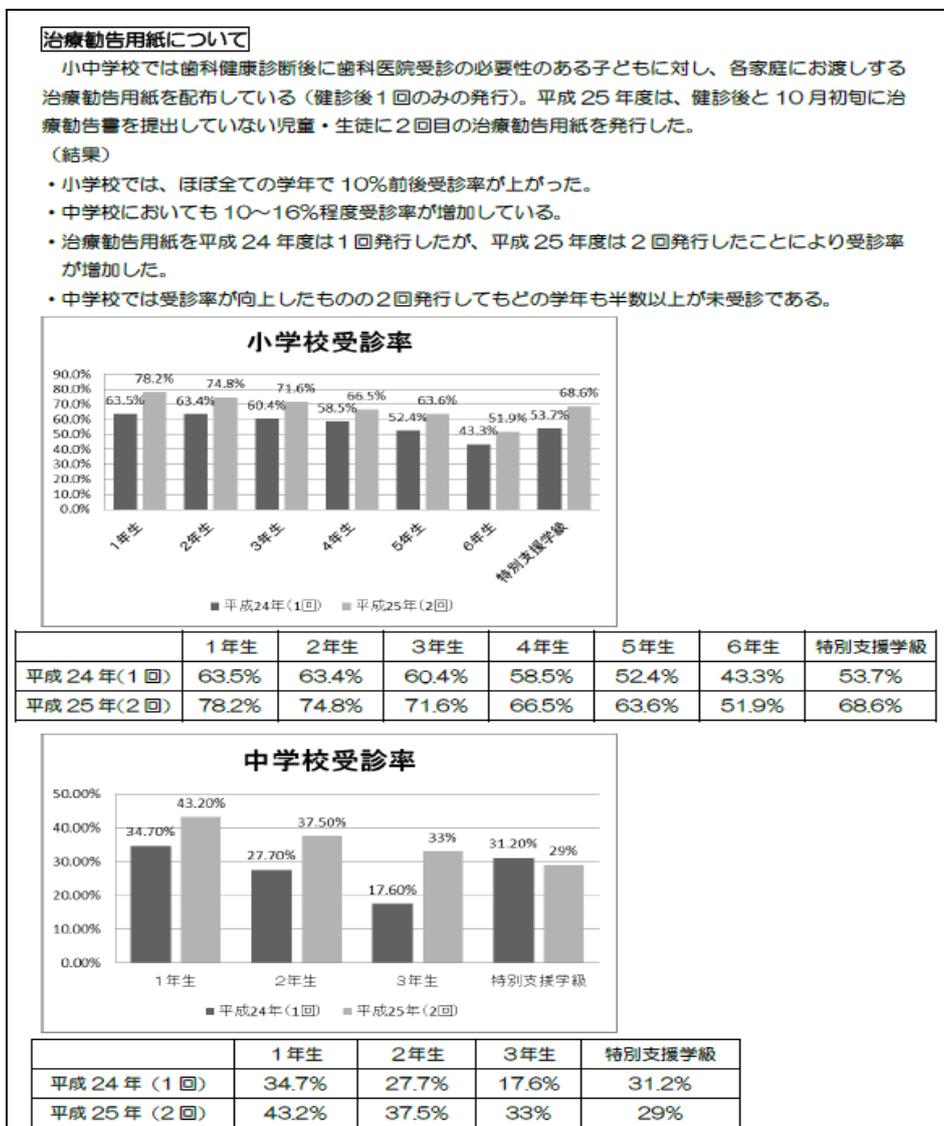
(2) 児童・生徒・保護者に対する知識の普及啓発

(ア) 歯科医会での保育園・幼稚園や小・中学校での取り組みについて説明があった。

- 公立の小・中学校の養護教諭に対し実技を含めた研修会を毎年実施している。
- 平成 25 年度から幼稚園・保育園でも職員に対し講演会を実施している。
- 11月8日に「歯みがき一斉 Week」として小・中学校で校医と養護教諭とが相談し各学校で歯の教育を実施している。

(2) 児童・生徒・保護者に対する知識の普及啓発

(イ) 学校歯科健診後の治療勧告用紙の通知方法や対象者について検討することが、今後の学校歯科保健教育の充実につながるとの意見があった。



- 学校保健会に健診後の治療勧告用紙について2回目の配布を依頼し実施。2回配布することにより小・中学校ともに効果はあったが、中学校に関しては保護者に渡さないため効果が得づらい現状にあるとの意見があった。
- 治療勧告用紙を配布したことについて、保護者に対しメールや保護者会で連絡などの手法も取って欲しいとの意見があった。
- 受診率を上げた学校は、学校保健会が主体で生徒全員に対し表彰式を実施している。
- 対象を健康な子どもも含め全員に通知することで、治療勧告用紙としてだけではない歯科保健教育のアプローチにつながるとの意見があった。

(2) 児童・生徒・保護者に対する知識の普及啓発

(ウ) 学校と学校歯科医の連携をより強化することで、口腔からの生活習慣形成、禁煙、がん対策などのアプローチにつながるとの意見があった。

- 日野市では歯科医会会員のほとんどが校医であるため、学校歯科医とかかりつけ歯科医の連携が可能であることが確認された。
- 学校検診時は生徒個人を尊重する必要があり配慮しなければならないため、個々にコミュニケーションがとれない現状にある。
- 学校歯科医が教員と共にチーム・ティーチング（T・T）を進めていく必要があるとの意見があった。

※チーム・ティーチング（T・T）

2人以上の教職員が連携・協力を通して1人ひとりの子どもおよび集団の指導の展開をはかり、責任をもつ指導方法および形態である。

(3) 歯磨き習慣の定着、正しい食生活の育成

(ア) 学校と家庭（地域）が連携し健康教育を推進することが重要であるとの意見があった。

食育分科会授業実践報告第4学年

(1) 指導案

第4学年
学級活動(2)
単元名

**かみかみメニューに
名前を付けよう**

平成26年9月12日(金) 5校時
第4学年1組 36名
授業者 担任 中村 麗恵
栄養教諭 小林久美子

中学年 目指す児童像
食事・睡眠・運動の大切さを知り、規則正しい生活をしようとする子

1 題材名 「かみかみメニューに名前を付けよう」
内容 <食事の重要性><心身の健康>

2 児童の実態と題材設定の理由
児童の日頃の給食を食べる様子を見ていると、好き嫌いが少なくバランスよく食べている児童が多い。また、お代わりをする児童も多く、意欲的に食べている。好き嫌いがある児童も、量を減らすことで食べることができるようになってきている。
一方で、「いただきます」をして5分以内にすべて食べ終わってしまう児童がおり、ほとんどかまないで食べているように感じられる。また、話をしている間なかなか食が進まず、給食終了の時間が迫った中で慌ててかまないで食べている児童も見られる。こうした様子から、児童はかむことのよさを十分理解しているとは言えない。また、昨年度の健康診断結果によると、4年生の児童は、体格的な調整がとれており、極端な肥満傾向の児童はいない。一方、歯科では、歯垢・歯肉炎の罹患率は60、6%、う歯罹患率は52、1%と、半数以上の児童が虫歯にかかっており、全校児童の中で最も多い学年である。
そこで、食育の学習を通して、かむことのよさについて理解し、食事をよくかんで食べようとする意欲を育てるとともに、規則正しい生活を身に付けることをねらいとして本題材を設定した。

3 学級活動(2)の評価基準

観 点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活への 知識・理解
評 価 規 準	自己の身の周りの問題及び健康や安全に関心をもち、意欲的に日常生活や学習に取り組もうとしている。	仲田小学校の一員として、楽しい学級生活をつくるために話し合い、日常生活や学習の問題について、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	仲田小学校の一員として、楽しい学級生活をつくることの大切さ、そのためのよりよい生活や学習の仕方などについて理解している。

4 研究主題との関連
(1) 身に付けさせたい力
<育てたい資質・能力>

- ・ かむことは、体全体に関わるとても大切な働きを理解する。
- ・ かむことのよさを周りの友達にも広げようとする中で、食事とかむことを関連させ理解を深める。
- ・ どんな食べ物でも、よくかんで食べようとする意欲をもつ。

仲田小学校の取り組みについて以下のことが説明された

- 健康教育ということで食育や睡眠時間などについて調査をしている。保護者に対し、睡眠や歯みがきや排便について提案を実施している。
- 「かみかみメニュー」の実施など噛むことについての取り組みを行っている。

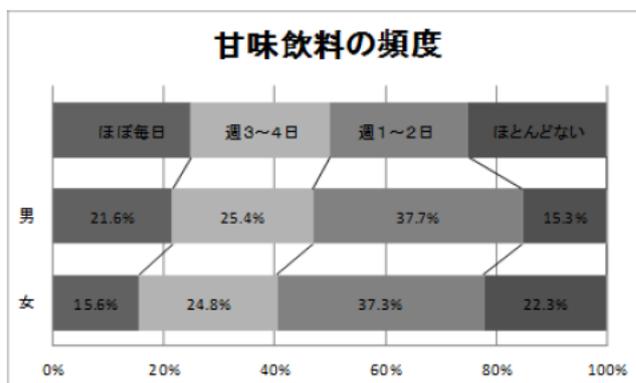
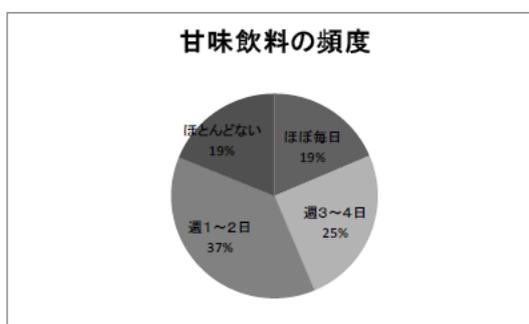
(3) 歯磨き習慣の定着、正しい食生活の育成

(イ) 甘味飲料やイオン飲料の摂取による口腔や身体へのリスクについて啓発が必要であるとの意見があった。

◎小学校4年生の甘味飲料の摂取頻度について（小学校4年生アンケートより）

約2割のお子さんがほぼ毎日、週3～4日と合わせると約4割は甘い飲み物を週3回以上は飲んでいる。ほとんど飲んでいないは、約2割である。

ほぼ毎日	234
週3～4日	316
週1～2日	472
ほとんどない	237



地区 性別 ジュース・乳酸飲料・スポーツドリンクなどの甘い飲み物を、1週間のうちにどのくらい飲みますか。

地区	性別	ほぼ毎日	週に3～4日	週に1～2日	ほとんどない	無回答
		特別区	男	24.1%	26.5%	
	女	18.2%	20.9%	34.9%	26.0%	
	計	21.6%	23.8%	32.2%	22.4%	
多摩地区	男	23.4%	22.3%	32.0%	22.3%	
	女	19.9%	16.8%	33.1%	30.2%	
	計	21.4%	20.0%	32.7%	25.9%	
特別支援計	男	24.0%	12.0%	12.0%	52.0%	
	女	0.0%	40.0%	20.0%	40.0%	
	計	20.0%	16.7%	13.3%	50.0%	
都全体	男	23.7%	24.0%	30.7%	21.5%	
	女	19.0%	18.8%	33.8%	28.4%	
	計	21.5%	21.7%	32.2%	24.7%	

「幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査」参照

- スポーツドリンクは熱中症対策等で啓発されているが、むし歯のリスクに加えて多量に飲むと生活習慣病のリスクがあるとの意見が出された。

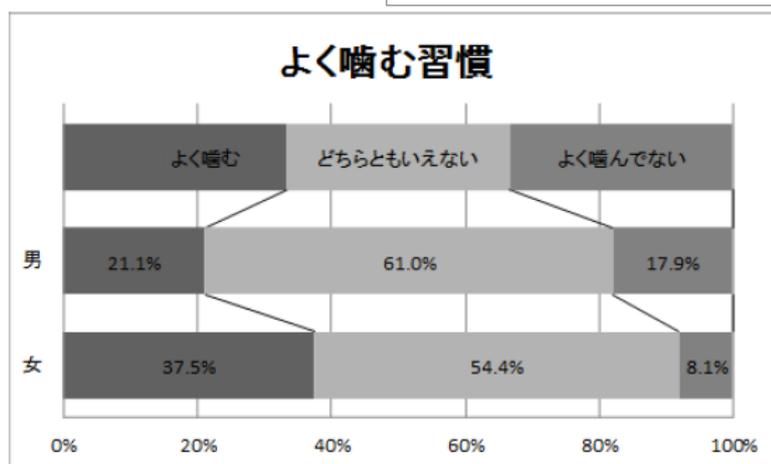
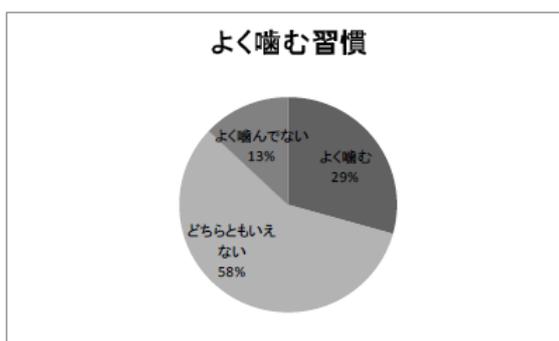
(3) 歯磨き習慣の定着、正しい食生活の育成

(ウ) 噛む力が落ち、口の筋肉が弱まっているため口を開けて息をしている子どもが多く、噛む力や口の周りの筋肉をつけるトレーニングの必要があるとの意見があった。

◎小学校4年生噛む習慣について（小学校4年生アンケートより）

どちらともいえないが約6割と一番多く、よく噛んでいないが1割いる。男女別では、女子の方がよく噛んでいる傾向がある。

よく噛む	369
どちらともいえない	725
よく噛んでない	163



【都民の知識と行動指標3】

ゆっくりよく噛んで食べるようにする者の割合を増加させる。

○ゆっくりよく噛んで食べるようにする者の割合

	目標
9歳	増やす

【資料】幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査報告（平成21年度）

- 口の周りの筋肉の問題だけではなく、花粉症やアレルギー性鼻炎など耳鼻科的問題の可能性もあるとの意見がだされた。

<資料2 食品表示法の概要>

食品表示法について ～「糖類が低減された旨の表示」を中心に～

1 概要

- (1) 食品衛生法、健康増進法、JAS 法でそれぞれ定められている食品表示に関する事項を食品表示法に統合した。施行は平成 27 年 4 月 1 日。
- (2) 食品表示基準に基づく栄養表示への経過措置期間
食品表示法施行の日から 5 年を経過しない日まで
- (3) 1 つの表示の中に、現行基準に基づく部分と新基準に基づく部分の混在は原則認められない
- (4) 現行基準に基づく表示と新基準に基づく表示の判断
「ナトリウム」で表示 ➡ 現行基準による表示
「食塩相当量」で表示 ➡ 新基準による表示

2 糖類が低減された旨の表示を行う場合

- (1) 糖類：単糖類または二糖類であって、糖アルコールでないもの
単糖類：グルコース（ブドウ糖）、ガラクトース、マンノース、フルクトース
二糖類：ラクトース（乳糖）、スクロース（ショ糖）、マルトース（麦芽糖）
糖アルコール：糖質の一種で原材料に水素を添加して製造される
キシリトール、エリスリトールなど
- (2) 含まない旨の表示の基準
食品：100g 当たり 0.5 g
一般に飲用に供する液状の食品：100ml 当たり 0.5 g
表示：「無」「ゼロ」「ノン」「フリー」など
- (3) 低い旨の表示の基準
食品：100g 当たり 5 g
一般に飲用に供する液状の食品：100ml 当たり 2.5 g
表示：「低」「控えめ」「少」「ライト」など
- (4) 低減された旨の表示の基準値 **(新)**
比較対象品との差が下記以上あって、比較対象品に比べて低減された割合が **25%以上**のものに限る・・・相対差の基準を明示
食品：100g 当たり 5mg
一般に飲用に供する液状の食品：100ml 当たり 2.5g
- (5) 糖類を添加していない旨が表示できる基準 **(新)**
 - ① いかなる糖類も添加されていないこと
(ショ糖、ブドウ糖、ハチミツ、糖蜜、コーンシロップ等)
 - ② 糖類に代わる原材料または添加物を使用していないこと
(ジャム、ゼリー、甘味の付いたチョコレート、甘味の付いた果実片等)
 - ③ 酵素分解その他何らかの方法により、当該食品の糖類含有量が原材料及び添加物に含まれていた量を超えていないこと
 - ④ 当該食品の 100g 若しくは 100ml または 1 食分、1 包装その他の 1 単位当たりの糖類の含有量を表示していること

★政令、表示基準がまだ公布されていないため、内容が変更される可能性あり

＜資料3 日野市歯とお口の健康づくり基本計画 計画の柱（案）＞



＜資料4 日野市歯とお口の健康づくり計画検討準備委員会 全4回の流れ（案）＞

日野市歯とお口の健康づくり基本計画検討準備委員会 全4回の流れ

第一回 ・日野市の歯科口腔における現状について ・計画の柱（案）について
第二回 ・ライフステージ 乳幼児期（0～5歳）について 【大目標】 歯みがきや噛む習慣を身につけ、むし歯のない健康なお口を育てる (1) むし歯予防の推進 (2) 保護者に対する知識の普及啓発 (3) 食育の推進 ・ライフステージ 学齢期（6～18歳）について 【大目標】 歯とお口の健康づくりの基礎をつくり、むし歯と歯周病を予防する (1) むし歯や歯周病予防の推進 (2) 児童・生徒・保護者に対する知識の普及啓発 (3) 歯磨き習慣の定着、正しい食生活の育成
第三回 ・ライフステージ 成人期（19～64歳）について（妊娠期を含む） 【大目標】 かかりつけ歯科医で定期的に検診を受診し、自己管理方法を習得することでお口の健康及び全身の健康を守る (1) 歯周疾患および歯の喪失予防の推進 (2) 歯とお口の健康の重要性についての理解の推進 (3) 歯周病と全身疾患の関連性についての普及啓発
第四回 ・ライフステージ 高齢期（65歳以上）について 【大目標】 自分にあった口腔ケアを実践し、しっかり噛める歯を保ち食事を楽しむ (1) 口腔機能の維持・向上 (2) 自身の口腔状態を把握し、適切な口腔清掃方法の獲得の支援

<資料5 乳幼児期の現状>

——乳幼児期の現状——

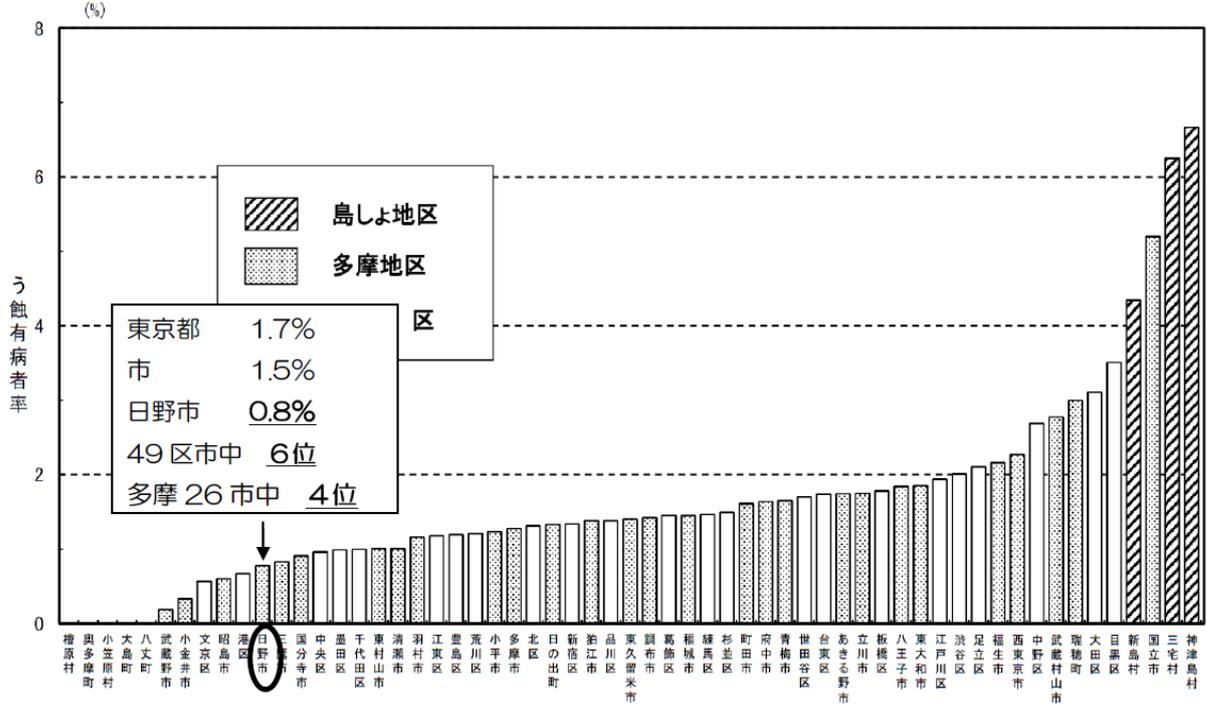
①むし歯予防の推進

◎1歳6か月児のむし歯における現状

2 歯科保健状況

(1)乳幼児期

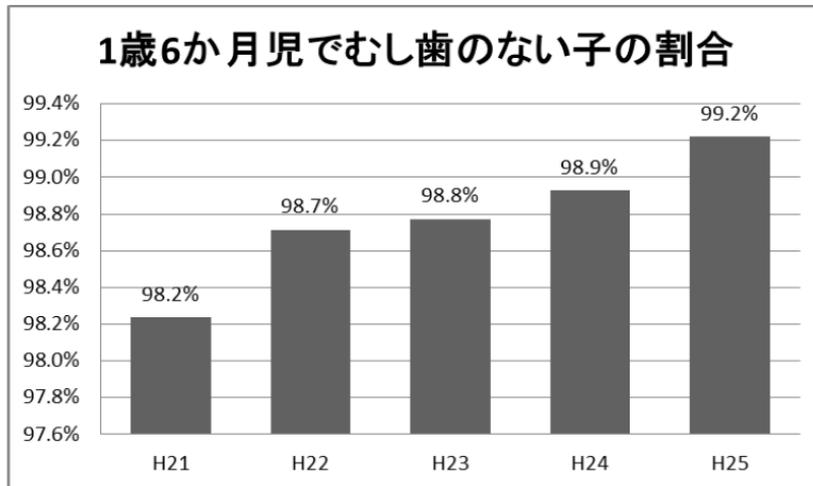
図2-(1)-1 区市町村別1歳6か月児のう蝕有病者率(平成25年度)



※東京の歯科保健 より

資料: 1歳6か月児歯科健康診査実績

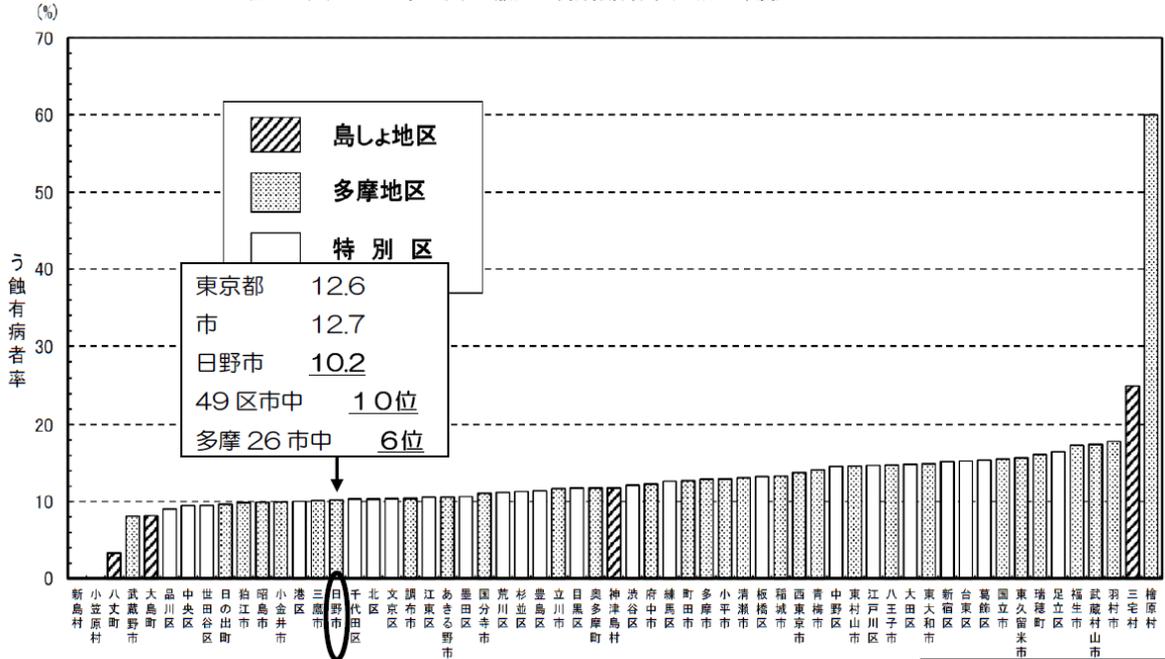
◎日野市の現状



<資料5 乳幼児期の現状>

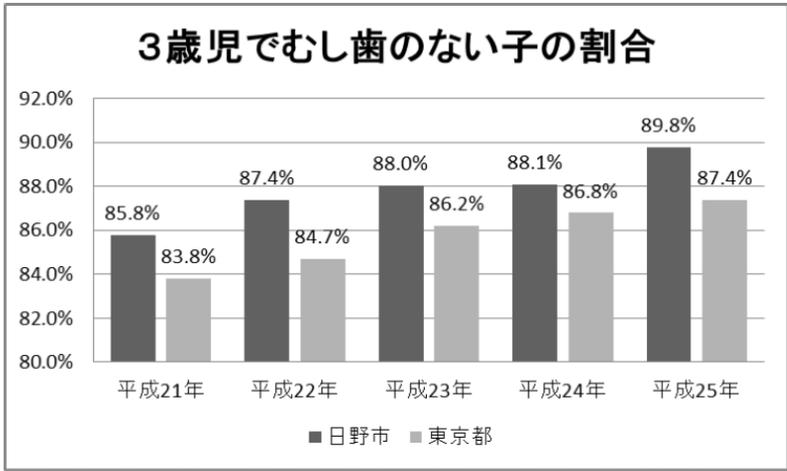
◎3歳児のむし歯における現状

図2-(1)-2 区市町村別3歳児のう蝕有病者率(平成25年度)



※東京の歯科保健 より

◎日野市の現状



【都民の健康指標】

う蝕のない者の割合を増加させる。

※いい歯東京 より

〇う蝕のない者の割合

	目標	現状
3歳	85.0%	83.8%

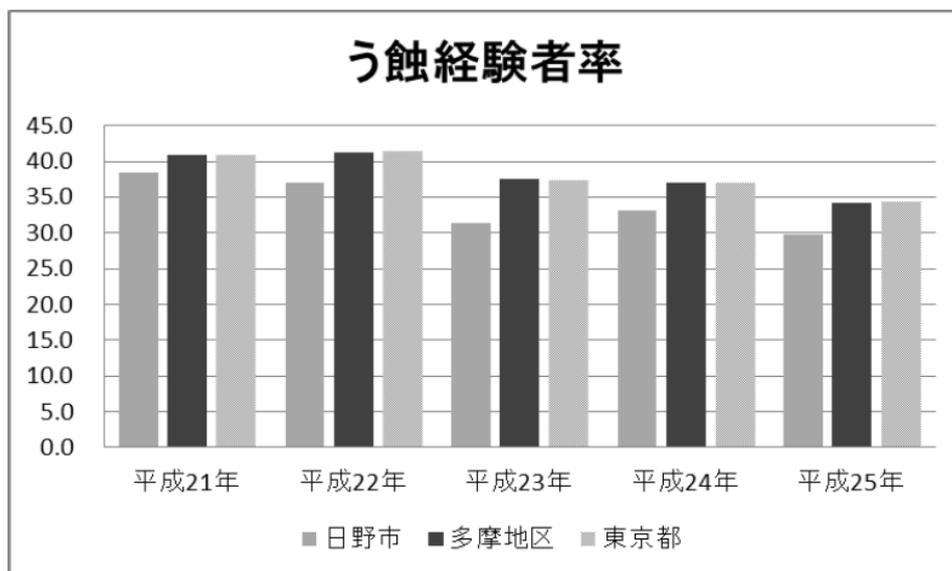
【資料】3歳児歯科健康診査結果(平成21年度)

※参考「健康日本21」の目標値:80%以上(「健康日本21」中間評価報告(平成19年4月):68.7%)

<資料5 乳幼児期の現状>

◎5 歳児のう蝕経験者率

	日野市	多摩地区	東京都
平成 21 年	38.4%	40.9 %	41.0%
平成 22 年	37.0%	41.3 %	41.4 %
平成 23 年	31.3 %	37.6 %	37.4 %
平成 24 年	33.2 %	37.0 %	37.0%
平成 25 年	29.8%	34.2%	34.4 %



※東京都：特別区、多摩地区、島しょ地区

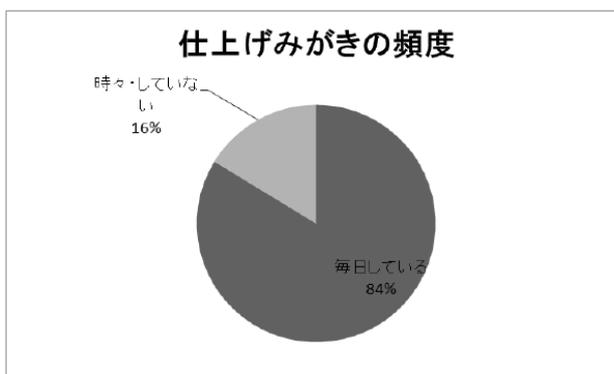
<資料5 乳幼児期の現状>

②保護者に対する知識の普及啓発 ※平成25年1歳6か月健診・3歳児健診アンケートより

◎仕上げみがきの頻度について

1歳6か月健診時での仕上げみがきの頻度は毎日行っている者が84%である。

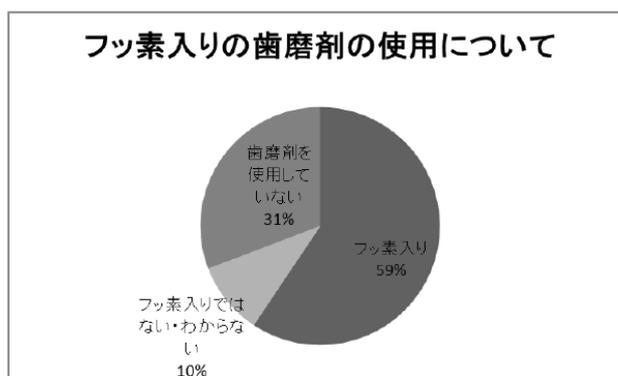
毎日している	1181
時々・していない	229
受診者数	1410



◎フッ素入り歯磨剤の使用について

3歳児健診でフッ素入り歯磨剤を使用しているのは59%であり、東京都の歯科保健目標の70%以上を下回っている。

フッ素入り	912
フッ素入りではない	151
フッ素入りかわからない	
歯磨剤を使用していない	474



【都民の知識と行動指標1】

※いい歯東京 より

フッ化物配合歯磨剤を使用している者の割合を増加させる。

○フッ化物配合歯磨剤を使用している者の割合

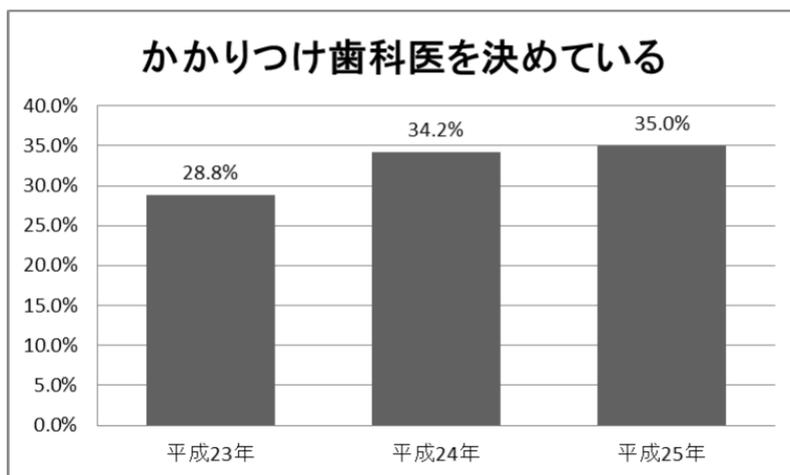
	目標
3歳	70%以上

【資料】幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査報告(平成21年度)

<資料5 乳幼児期の現状>

◎かかりつけ歯科医を決めているかどうか

かかりつけ歯科医を決めている者は増加傾向にあり、平成 25 年度では3歳児健診で 35%の子どもがかかりつけ歯科医を決めている。



【都民の知識と行動指標 4】

かかりつけ歯科医を持つ者の割合を増加させる。

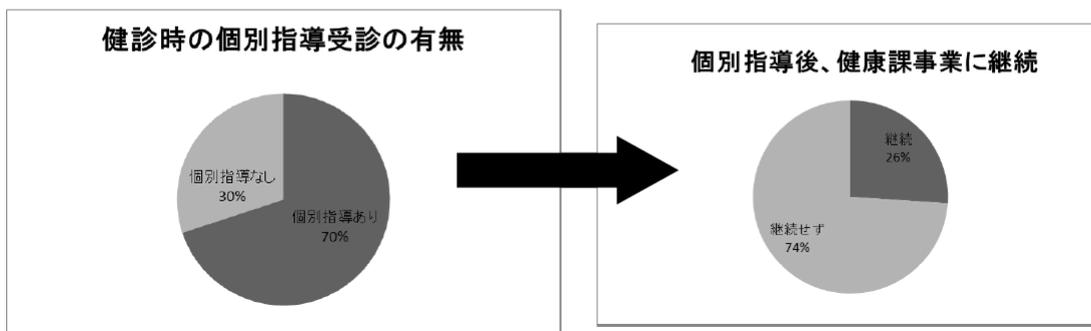
○かかりつけ歯科医を持つ者の割合

	目標
3歳	60%以上

【資料】幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査報告(平成21年度)

◎健診時の保護者に対するフォローについて

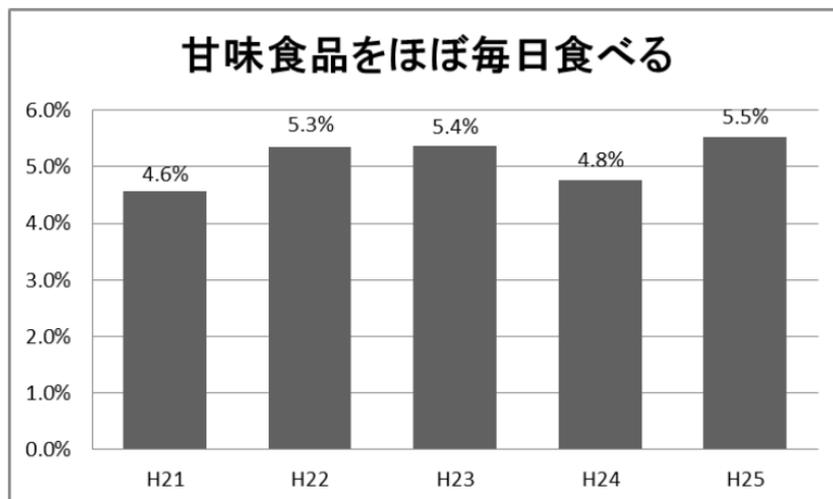
1歳6か月健診ではう蝕リスクの高い子ども（仕上げの頻度、間食、甘味飲料等の項目により）に対し、歯科衛生士による個別の歯科保健指導を実施している。



<資料5 乳幼児期の現状>

③食育の推進 ※平成25年1歳6か月健診・3歳児健診アンケートより

◎1歳6か月児の甘味食品の頻度



◎3歳児の甘味食品の頻度

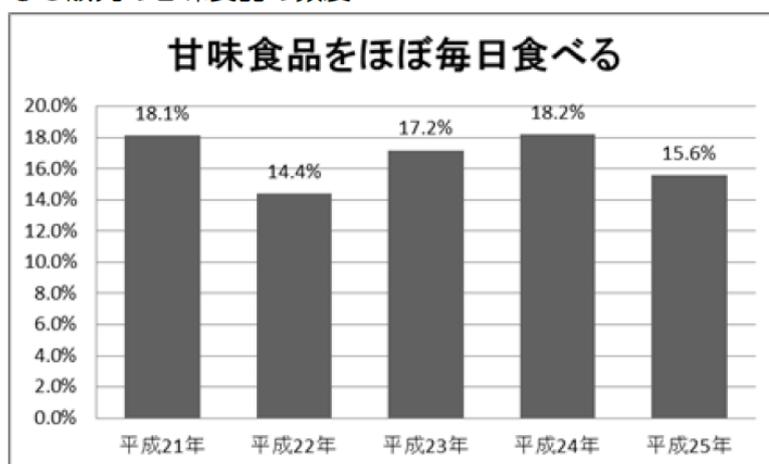


表1 甘味食品の摂取状況

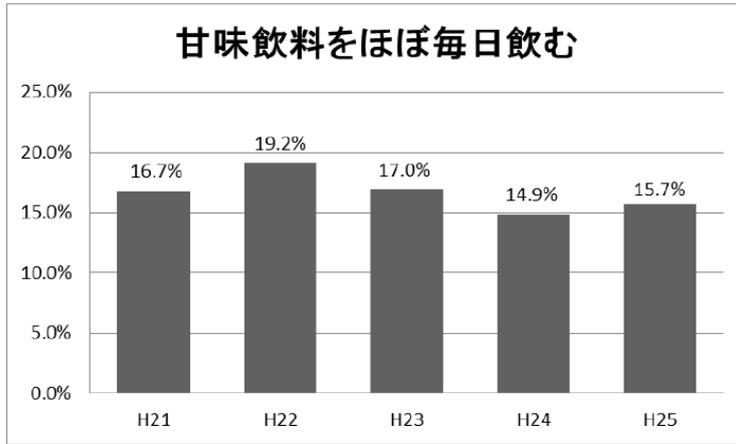
表1-1

年齢	ほぼ毎日	週3~4日	週1~2日	ほとんどない	
1歳6か月	特別区	257 9.9%	284 11.0%	612 23.7%	1430 55.4%
	多摩地区	124 10.0%	216 17.4%	350 28.2%	552 44.4%
	全体	381 10.0%	500 13.1%	962 25.2%	1,982 51.8%
3歳	特別区	790 27.1%	876 30.0%	819 28.1%	431 14.8%
	多摩地区	360 27.0%	471 35.3%	346 25.9%	157 11.8%
	全体	1,150 27.1%	1,347 31.7%	1,165 27.4%	588 13.8%

※幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査 より

<資料5 乳幼児期の現状>

◎ 1歳6か月児の甘味飲料の頻度



◎ 3歳児の甘味飲料の頻度

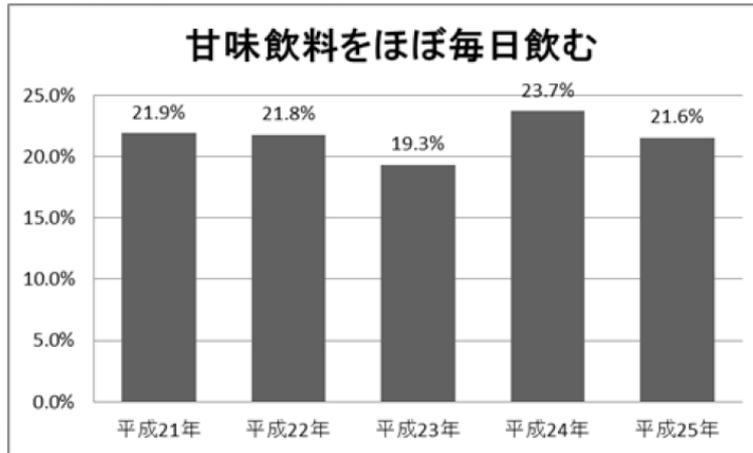


表2-1
年齢

年齢	ほぼ毎日	週3~4日	週1~2日	ほとんどない	
1歳6か月	特別区	558 21.6%	301 11.7%	511 19.8%	1,210 46.9%
	多摩地区	224 18.0%	192 15.5%	324 26.1%	502 40.4%
	全体	782 20.5%	493 12.9%	835 21.8%	1,712 44.8%
3歳	特別区	841 28.9%	615 21.1%	866 29.7%	590 20.3%
	多摩地区	338 25.4%	301 22.6%	459 34.4%	235 17.6%
	全体	1,179 27.8%	916 21.6%	1,325 31.2%	825 19.4%

【都民の知識と行動指標2】

甘味飲料をほぼ毎日飲む者の割合を減少させる。

○甘味飲料をほぼ毎日飲む者の割合

	目標
3歳	20%以下

【資料】幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査報告(平成21年度)

※幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査 より

<資料6 歯科治療受診勧奨用紙>

ちやんの保護者の方へ

今回の健診で、お子さんにむし歯等の問題がありますので、速やかに
歯科医療機関を受診してください。

※母子健康手帳とこの用紙を受診医療機関にお渡してください。

※裏面に日野市歯科医会会員 診療所・歯科医院一覧を掲載しております。

※保険診療での対応になりますので、健康保険証と乳幼児医療証を受診医
療機関にお持ちください。

イタイ!



～乳歯のむし歯についての基礎知識～

(むし歯をほうっておくと!)

乳歯は大人の永久歯に比べ、歯の質がとてもやわらかいのが特徴の一つです。そのため、自覚症状がほとんどない状況で、むし歯が急速に進行してしまう事も多いのです。また、乳歯をむし歯のまま放置しておくと、お口の中のむし歯菌も増えてしまいます。そうすると、他の歯もむし歯になりやすく、乳歯だけでなく、生えたての永久歯もむし歯になってしまうのです。重症のむし歯を放置しておくと、となりの歯との隙間が少なくなって、歯並びやかみ合わせに影響が出たりします。時には歯ぐきが腫れたりすることもあります。

乳幼児期は生涯の基本となる望ましい食習慣を身につけたり、正しい発音や言語を覚えるとても大切な時期で、乳歯は大きな役割を果たします。

乳歯が永久歯と交換するまでの時間はけっして短くはありません。

お子さまの歯の健康を守るには、かかりつけ歯科医を持ち、定期的に健診やフッ素塗布などを行うことをおすすめしています。

問合わせ先 日野市健康課 TEL 581-4111

平成 年 月 日

担当医先生

歯科診療のお願い

[1歳6ヶ月児・3歳児・乳幼児歯科] 健診の結果、医療機関における歯科治療が必要と思われるので、ご高診の程よろしく願いいたします。

(部位、病名等は母子健康手帳を御参照ください。)

なお、必要に応じて貴医院での経過観察も重ねてお願い致します。

日野市健康課

日野市歯科医学会 歯科医院・診療所一覧

ホームページ <http://www.hino-dent.jp/>

歯科医院・診療所名	所在地	電話	小児治療 フッ素	矯正
染谷 歯科クリニック	旭が丘1-25-5	581-2769	○	○
松井 歯科医院	旭が丘2-7-27	584-5773	○	○
トクモロフウキ 歯科	旭が丘3-1-25 トクモロフウキビル2F	581-8114	○	○
木村 歯科医院	旭が丘5-22-3	582-0834	○	○
オレンジ 歯科	旭が丘6-1-1 エアテート丸山1F	581-4184	○	○
須田 ビル 歯科	豊田3-39-22	581-0447	○	○
フアミーユ 歯科	多摩平1-1 フアミーユ京王4F	587-8211	○	○
田中 歯科医院	多摩平1-2-9	585-4618	○	○
根田 歯科医院	多摩平1-4-2 根田ビル201	581-0505	○	○
黒沢 歯科医院	多摩平1-6-20	582-9630	○	○
アサヒ ビル 歯科	多摩平1-8-12 アサヒビル1F	581-8211	○	○
フ・ポルト 歯科診療所	多摩平2-3-1 フ・ポルトビル2F	584-3101	○	○
松原 歯科クリニック	多摩平2-13-15 フジコースト1F	586-7266	○	○
さえぐさ 歯科医院	多摩平3-22-18	586-4581	○	○
日野台 歯科診療所	多摩平5-7-4	581-0345	○	○
森田 歯科医院	多摩平6-3-20	581-3460	○	○
鹿島 歯科医院	多摩平6-10-7	581-3562	○	○
山名 歯科医院	多摩平6-22-2	581-0570	○	○
和光堂 歯科医院	多摩平6-40-2	581-1758	○	○
内山 歯科室	多摩平7-20-9	586-1182	○	○
土橋 歯科医院	日野台4-14-7 ハイツ日野台1F-B	583-1166	○	○
加藤 歯科医院	日野台5-16-15 1階	581-8148	○	○
土屋 歯科医院	神明2-8-13	582-1720	○	○
内田 歯科医院	神明4-18-27	587-6880	○	○
たけい 歯科室	大坂上1-30-20-2F	586-8688	○	○
トニーユ 歯科クリニック	大坂上1-32-2 HSビル2F	586-1250	○	○
きむら 歯科診療室	大坂上2-8-11 美夜湖ビル1F	585-2580	○	○
渋谷 歯科医院	栄町1-2-1-103	583-1118	○	○
高品 歯科医院	日野本町1-12-13 高品クリニック2F	587-6480	○	○
雨宮 歯科医院	日野本町2-20-13	584-3741	○	○
藤本 歯科医院	日野本町3-6-16	581-3573	○	○

歯科医院・診療所名	所在地	電話	小児治療 フッ素	矯正
仁後 歯科医院	日野本町3-11-5 I MEビル3F	584-8335	○	○
斎藤 歯科医院	日野389-1 滝瀬ビル2F	586-2101	○	○
石原 歯科	平山2-41-3 モール街	592-6838	○	○
ゆうき 歯科医院	平山4-2-1 小林ビル1F	593-5622	○	○
清水 歯科医院	西平山1-26-17	581-6480	○	○
史 歯科医院	南平3-16-4 ニュートリビル1F	593-7949	○	○
佐藤 歯科クリニック	南平6-14-27 南平下山ビル1F	594-4599	○	○
ゆう 歯科クリニック	南平7-6-83	593-3700	○	○
がも う 歯科医院	南平7-21-11	592-1618	○	○
久富 歯科クリニック	高幡1001-8 久野第2ビル501	593-5751	○	○
くわはら 歯科医院	高幡1001-3 プレミール高幡2F	592-9900	○	○
熊井 歯科医院	高幡328 森久保医療モール2F 203	591-1125	○	○
ひのき 歯科医院	高幡1000-7 GT-II 4F	592-5046	○	○
武内 歯科医院	高幡434 クリニックエイト101	599-7599	○	○
前澤 歯科医院	高幡1004-3 ラグアイビル-103	593-9590	○	○
富田 歯科	石田1-12-6 ヴィンダム多摩101	585-1231	○	○
しのみや 歯科医院	新井732-2 スーフ高幡1F	594-1111	○	○
佐藤 歯科医院	万願寺4-30-1	583-4182	○	○
みねぎし 歯科	万願寺2-33-6	585-0570	○	○
村上 歯科医院	三沢1-5-11	593-0394	○	○
アツコ 小児 歯科	三沢2-23-10 ビーハイブ1F	593-6511	○	○
三沢町久富 歯科クリニック	三沢4-1-5	594-0334	○	○
久木元 歯科クリニック	百草194 第三双洋ビル2F	592-8240	○	○
桜井 歯科	百草999 百草団地2-8-1-202	592-7258	○	○
高井 歯科医院	落川1001-2 大明百草園ビル2F	593-3311	○	○

(平成26年7月 現在)

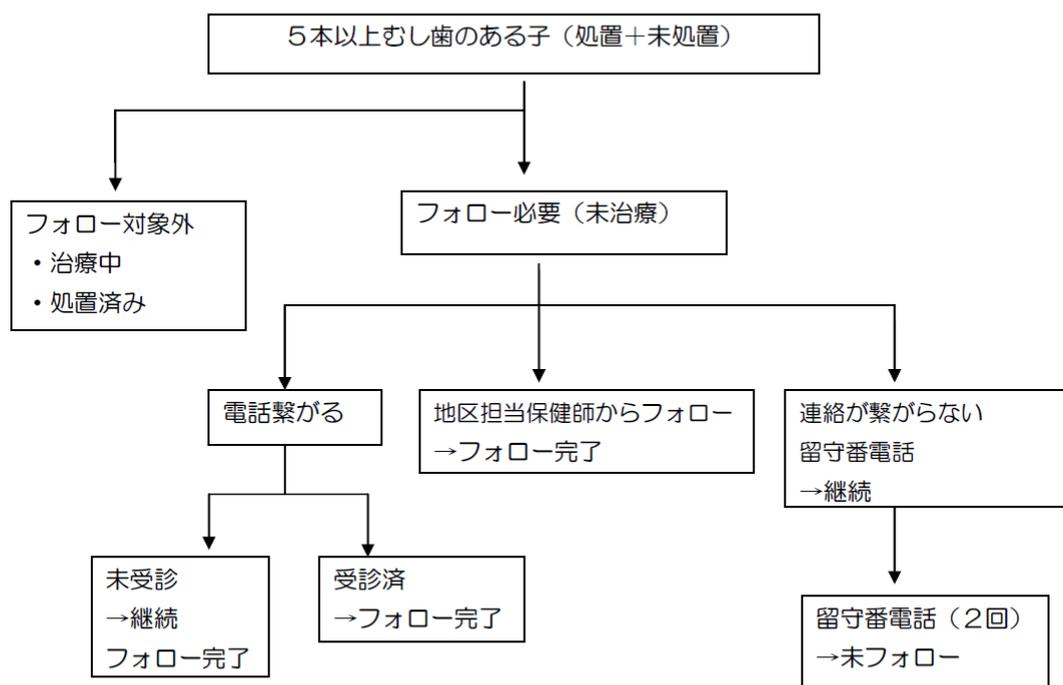
- ・フッ素塗布・矯正は保険外診療のため、料金は各歯科医院にお問い合わせ下さい。
- ・「フッ素」による虫歯予防の方法は数種類あります。詳細は各歯科医院にご相談下さい。
- ・受診される前に、診療日時・予約等の確認をして下さい。
- ・受診の際は、「健康保険証」を必ずお持ち下さい。
- ・乳幼児は、「母子健康手帳」、成人は、検診結果をお持ちの方はご持参下さい。

<資料7 むし歯5本フォローについて>

5本むし歯フォローについて

歯科健診（1歳6か月児歯科健診、3歳児歯科健診）の結果で、ハイリスク児（むし歯5本以上）に対し、歯科衛生士が電話連絡等で歯科治療したかどうかの確認及び相談・助言を行っている。治療済または管理中はフォロー対象者からはずしている。歯科医院に繋がっていることを確認後、フォロー終了となる。

※第2期げんきプランでは目標値 平成27年度90%



<現状>

	23年度	24年度	25年度
1歳6か月児健診	2	0	0
3歳児健診	23	26	23
合計	25	26	23
フォロー対象数(フォロー必要)	25	12	18
フォロー数	17	8	13
フォロー率	68%	67%	72%

<資料8 日野人げんき！プラン評価>

第2期「日野人げんき！」プラン進捗状況評価シート（平成25年度）
【重点施策】

重点目標	子育て・子育て不安ゼロ	重点施策	重点施策3				
大目標	2. 子どもの健やかな発育・発達支援	担当課	健康課				
中目標	(3) 歯科保健を充実します	健康指標 (数値目標)	平成21年度	目標値 平成27年度			
充実する 施策	事業名 P19	8. 歯科健診でむし歯が多い(概ね5本以上)子どもへの電話等フォロー	健診で虫歯が多かった子どもへの電話等フォローした割合		—	90%	
	事業名	9. 1歳6か月児歯科健診、3歳児歯科健診、経過観察歯科健診	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業名		68%	67%	72%		
	事業名						

事業名番号	各事業の実施状況
8	<p>歯科健診の結果で、ハイリスク児(むし歯5本以上)に対し、歯科衛生士が電話連絡等で歯科治療したかどうかの確認及び相談・助言を行っている。25年度のハイリスク児は、1歳6か月児では0名、3歳児健診では23名であり減少している(前年度は1歳6か月健診は0名、3歳児健診は26名)。</p> <p>この内、既に歯科医療機関にて処置済みの者が5名おりフォロー対象外とした。不在のため留守電で終了したケースが5名、歯科衛生士・地区担当の保健師によるフォロー数が13名でありフォロー率が上がった(前年度は既に医療機関にて処置済みが14名おりフォロー対象からはずした。留守電での終了したケース5名、歯科衛生士・地区担当の保健師によるフォロー8名)。</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年7月より継続して1歳6か月児健診、3歳児健診、経過観察歯科健診等でむし歯のあった児の保護者に対し、日野市歯科医会と検討した早期治療の大切さや歯科医院一覧を入れた受診勧告用紙を渡す取り組みを実施した。 乳幼児期にかかりつけ歯科医と相談しながら歯科治療や予防歯科を進めていく事が、生涯を通じての歯科疾患の予防や口の中の健康を維持していく事につながることを推進している。

中目標に対する評価

評価	5…順調	4…おおむね順調	3…一部遅延	2…大幅遅延	1…未実施
平成25年度					
主 管 課	評価点数	評価理由			
	4	<p>8、前年度と比較しハイリスク児が減少している。継続して歯科衛生士が把握・支援していく事により早期に受診及び治療に繋げる事ができた。</p> <p>9、むし歯があった全員の保護者に乳歯をしっかりと治療しておく事の大切さの説明や歯科医院一覧を手渡しする事により、早期の歯科受診を促す流れが出来ている。</p> <p>27年度までの今後の課題 (簡条書き)</p>			
	8、地区担当保健師を通じてのケース以外は電話連絡で実施していたが、平日は連絡がつきにくい場合も増加しており、手紙等の別の方法を検討する。				
庁内 評 価 会 議	評価点数	評価理由			
	4	<p>ハイリスク児のフォロー率は上昇している。</p> <p>早期治療につながるよう受診行動を喚起する取組は評価できるが、対象児が18名しかいないのに、5名について留守番電話で終了となっていることなどから、連絡の時間や方法を変えるなど、もう少し力を入れてほしい。</p>			
評 価 推 進 委 員 会	評価点数	評価理由			
	4	<ul style="list-style-type: none"> 健診でフォローした割合が67%(H24年度)から72%(H25年度)に増加している。 早期治療を促す取り組みで対象者18名の内5名が留守電で終了というのは残念。 おおむね順調と思うが、第3期「日野人げんき！」プランではハイリスク児の基準を検討する必要がある。むし歯が1本あってもフォローするべきではないか。 早期の治療につながるよう、健診後のフォローに更に力を入れてもらいたい。 			

平成26年度事業計画

8、周知方法の見直しをする。
9、歯科健診時のより充実した指導・助言ができる体制を整える。

<資料9 学齢期の現状>

—学齢期の現状—

むし歯や歯周病予防の推進

◎むし歯に関する現状

図2-(2)-1 小学生、中学生及び高校生のう歯被患率の推移

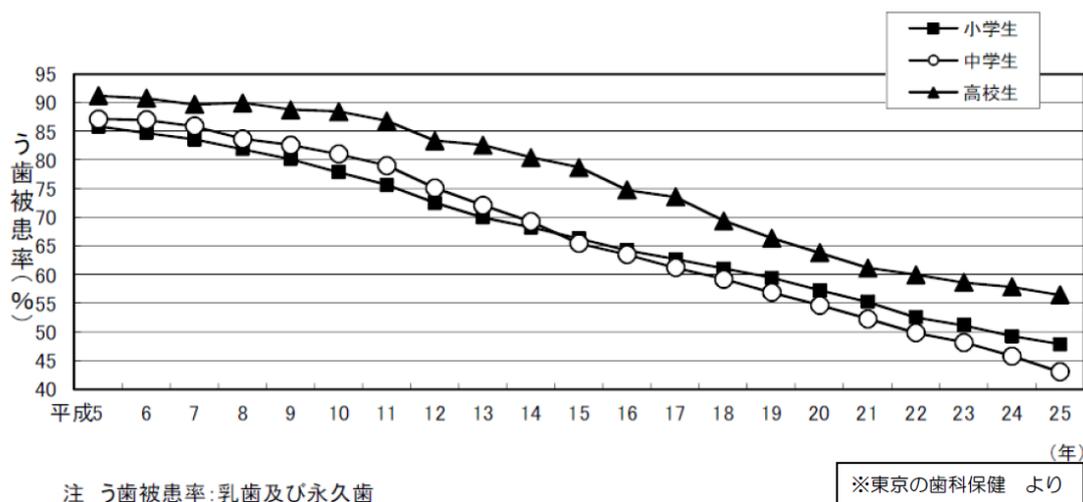
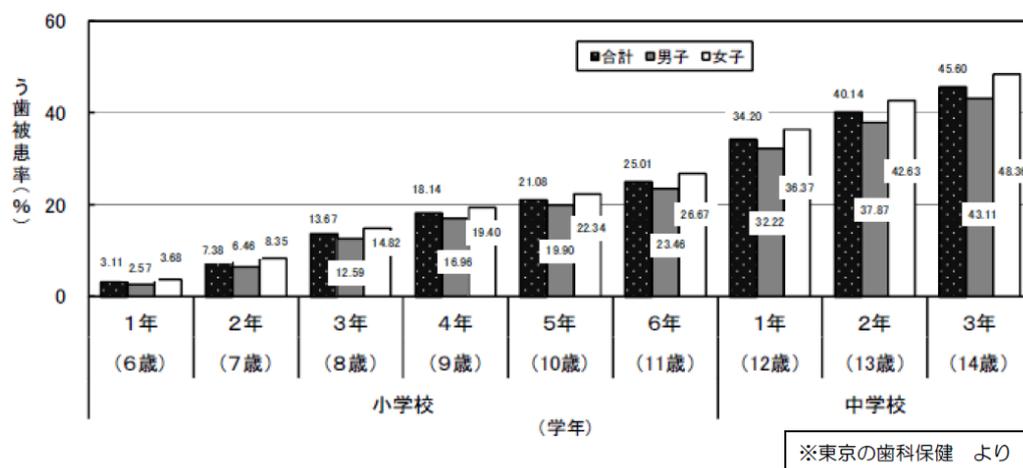


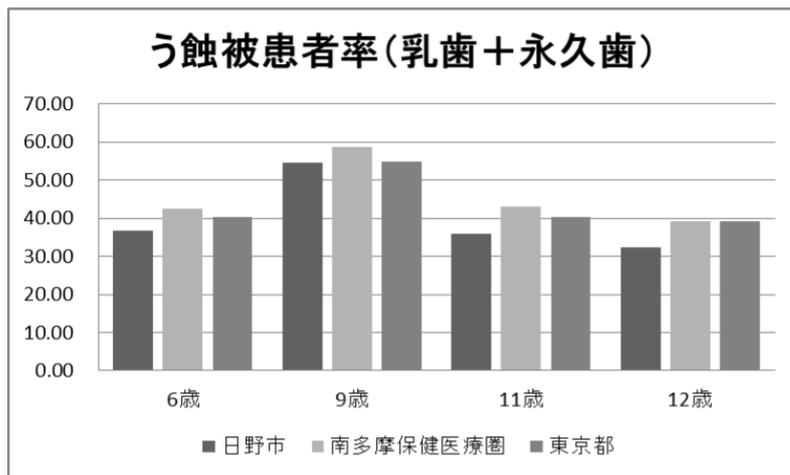
図2-(2)-2 小学生及び中学生の永久歯の学年別う歯被患率(平成25年度)



<資料9 学齢期の現状>

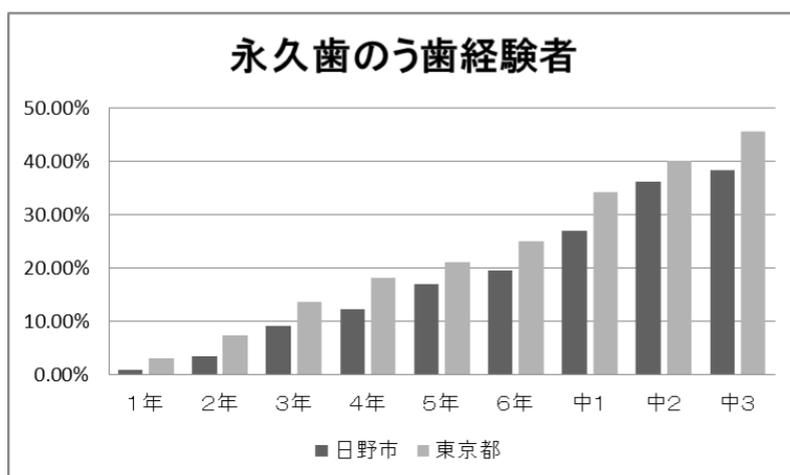
◎う蝕被患者率（乳歯＋永久歯）

	6歳	9歳	11歳	12歳
日野市	36.6%	54.4%	36.0%	32.4%
南多摩保健医療圏	42.6%	58.7%	42.9%	39.2%
東京都	40.3%	54.7%	40.2%	39.3%



◎永久歯のう蝕経験者

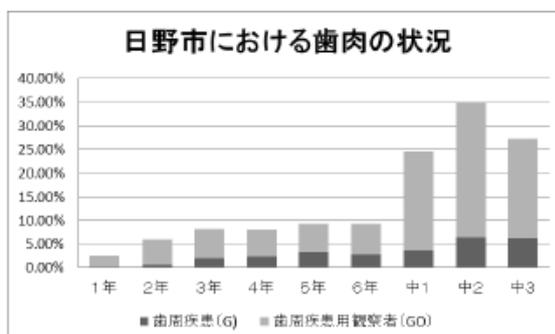
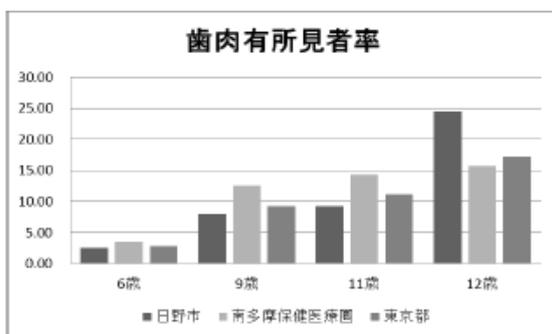
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	中1	中2	中3
日野市	0.9%	3.5%	9.1%	12.4%	17.0%	19.6%	27.0%	36.2%	38.4%
東京都	3.1%	7.3%	13.6%	18.1%	21.0%	25.0%	34.2%	40.1%	45.6%



<資料9 学齢期の現状>

◎平成 25 年度歯肉有所見者率

	6歳	9歳	11歳	12歳
日野市	2.57 %	7.9%	9.2%	24.5%
南多摩保健医療圏	3.47 %	12.5%	14.3%	15.7%
東京都	2.78 %	9.2%	11.1%	17.2%



※いい歯東京 より

【中目標3：歯肉炎の予防】

12歳における歯肉に炎症所見の認められる者（GO及びGの者）の割合を減少させる。

○歯肉に炎症所見の認められる者（GO及びGの者）の割合

	目標値
12歳	10%以下

【資料】東京都の学校保健統計書(平成21年度)

○歯肉に炎症所見の認められる者（GO及びGの者）の割合（日野市）

12歳	24.52%
-----	--------

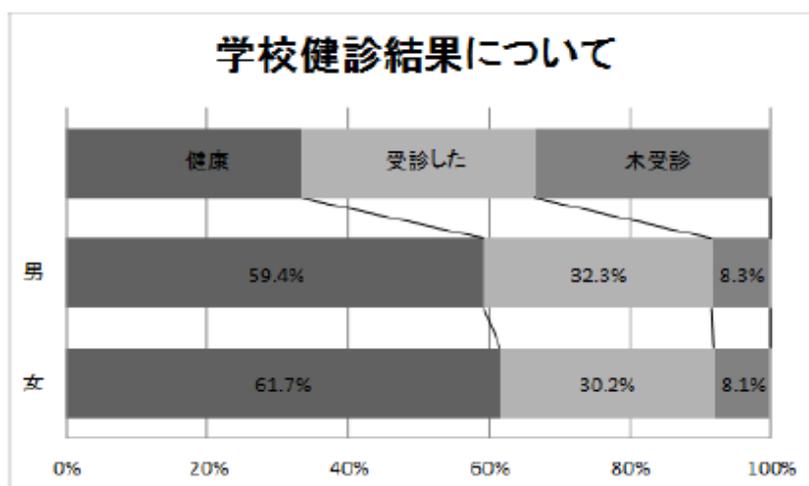
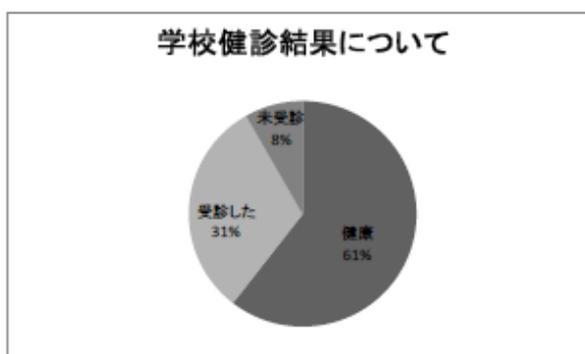
<資料9 学齢期の現状>

【児童・生徒・保護者に対する知識の普及啓発】

◎学校歯科健診について（小学校4年生アンケートより）

6割のお子さんが健康でむし歯がなく、学校健診後に受診が31%、未受診が8%いる。

健康	757
受診した	391
未受診	103



<資料9 学齢期の現状>

治療勧告用紙について

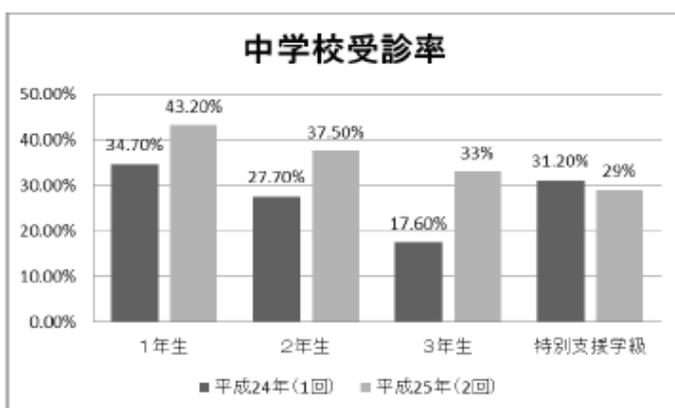
小中学校では歯科健康診断後に歯科医院受診の必要性のある子どもに対し、各家庭にお渡しする治療勧告用紙を配布している（健診後1回のみ発行）。平成25年度は、健診後と10月初旬に治療勧告書を提出していない児童・生徒に2回目の治療勧告用紙を発行した。

（結果）

- ・小学校では、ほぼ全ての学年で10%前後受診率が上がった。
- ・中学校においても10～16%程度受診率が増加している。
- ・治療勧告用紙を平成24年度は1回発行したが、平成25年度は2回発行したことにより受診率が増加した。
- ・中学校では受診率が向上したものの2回発行してもどの学年も半数以上が未受診である。



	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特別支援学級
平成24年(1回)	63.5%	63.4%	60.4%	58.5%	52.4%	43.3%	53.7%
平成25年(2回)	78.2%	74.8%	71.6%	66.5%	63.6%	51.9%	68.6%



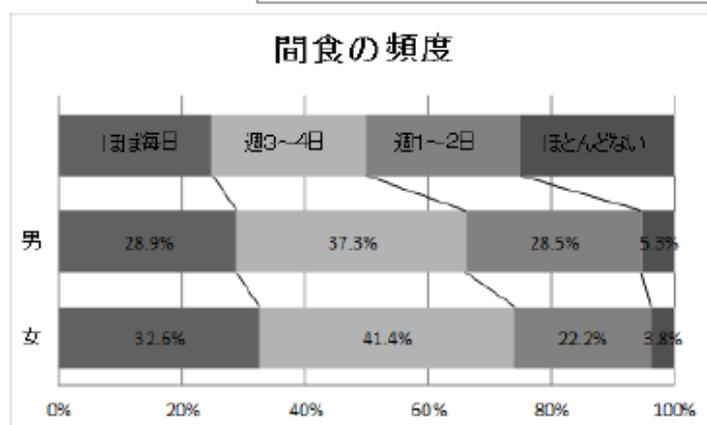
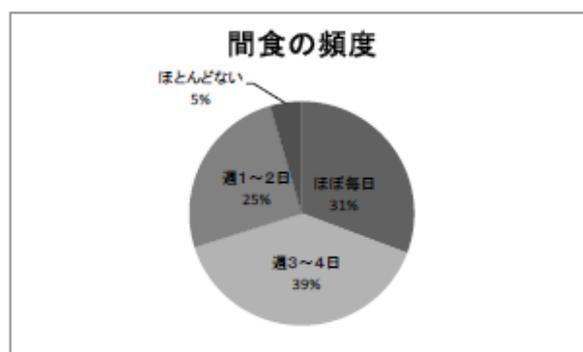
	1年生	2年生	3年生	特別支援学級
平成24年(1回)	34.7%	27.7%	17.6%	31.2%
平成25年(2回)	43.2%	37.5%	33%	29%

<資料9 学齢期の現状>

◎小学校4年生の甘味食品の摂取頻度について（小学校4年生アンケートより）

3割のお子さんがほぼ毎日、週3～4日と合わせると約7割は甘いお菓子を週3回以上は食べている。ほとんど食べないは全体の5%と低い割合になっている。

ほぼ毎日	388
週3～4日	497
週1～2日	320
ほとんどない	57



		質問1				
地区	性別	あめ・チョコレート・ガム・アイスクリームなどの甘いお菓子を、1週間のうちにどのくらい食べますか。				
		ほぼ毎日	週に3～4日	週に1～2日	ほとんどない	無回答
特別区	男	19.9%	32.8%	32.2%	15.1%	
	女	22.0%	33.3%	28.6%	16.1%	
	計	20.8%	33.3%	30.4%	15.5%	
多摩地区	男	21.5%	31.4%	31.4%	15.8%	
	女	27.0%	36.2%	27.6%	9.3%	
	計	23.9%	33.8%	29.6%	12.7%	
特別支援計	男	20.0%	24.0%	44.0%	12.0%	
	女	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	
	計	16.7%	30.0%	43.3%	10.0%	
都全体	男	20.7%	31.9%	32.1%	15.4%	
	女	24.6%	35.0%	28.1%	12.3%	
	計	22.4%	33.5%	30.2%	14.0%	

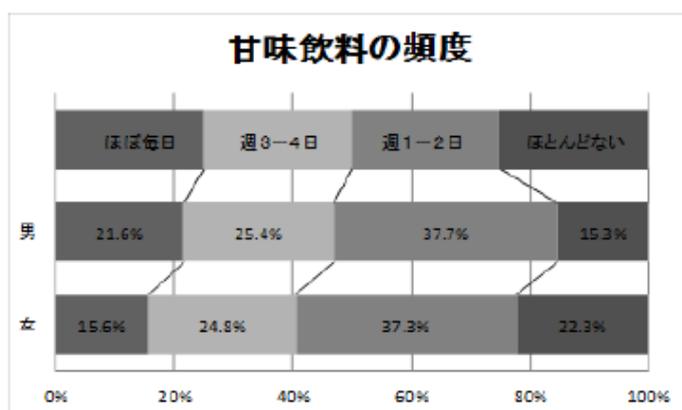
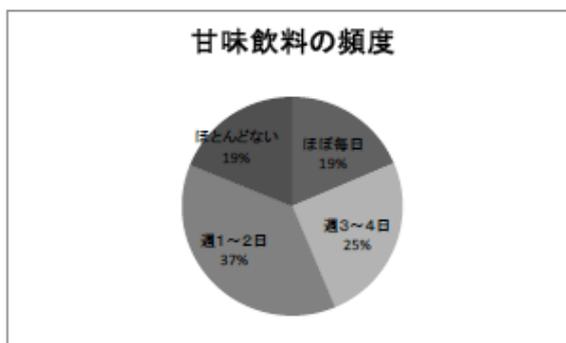
「幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査」参照

<資料9 学齢期の現状>

◎小学校4年生の甘味飲料の摂取頻度について（小学校4年生アンケートより）

約2割のお子さんがほぼ毎日、週3～4日と合わせると約4割は甘い飲み物を週3回以上は飲んでいる。ほとんど飲んでいないは、約2割である。

ほぼ毎日	234
週3～4日	316
週1～2日	472
ほとんどない	237



地区 性別 ジュース・乳酸飲料・スポーツドリンクなどの甘い飲み物を、1週間のうちにどのくらい飲みますか。

地区	性別	ほぼ毎日	週に3～4日	週に1～2日	ほとんどない	無回答
特別区	男	24.1%	26.5%	30.4%	19.1%	
	女	18.2%	20.9%	34.9%	26.0%	
多摩地区	計	21.6%	23.8%	32.2%	22.4%	
	男	23.4%	22.3%	32.0%	22.3%	
	女	19.9%	16.8%	33.1%	30.2%	
特別支援	計	21.4%	20.0%	32.7%	25.9%	
	男	24.0%	12.0%	12.0%	52.0%	
	女	0.0%	40.0%	20.0%	40.0%	
都全体	計	20.0%	16.7%	13.3%	50.0%	
	男	23.7%	24.0%	30.7%	21.5%	
	女	19.0%	18.8%	33.8%	28.4%	
計	21.5%	21.7%	32.2%	24.7%		

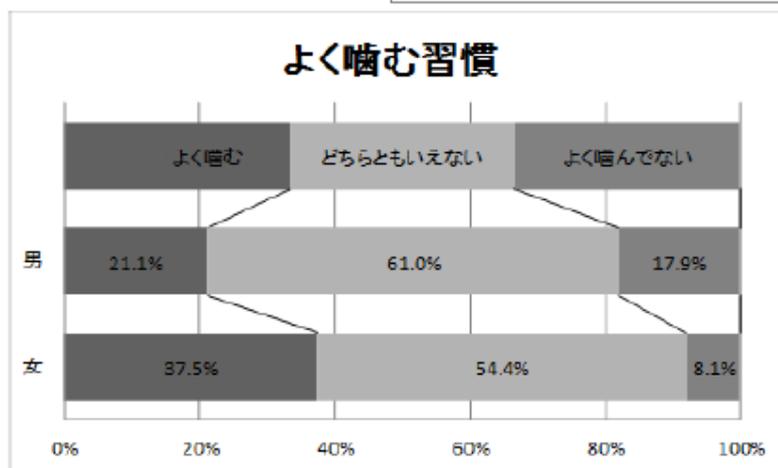
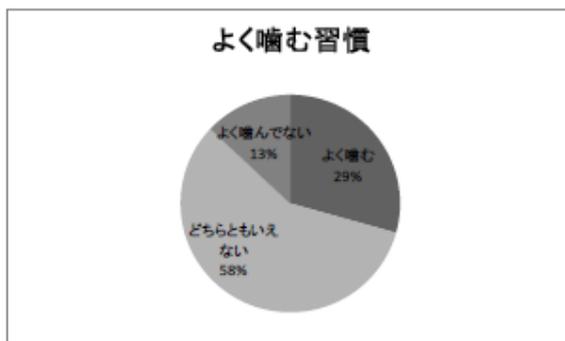
「幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査」参照

<資料9 学齢期の現状>

◎小学校4年生噛む習慣について（小学校4年生アンケートより）

どちらともいえないが約6割と一番多く、よく噛んでいないが1割いる。男女別では、女子の方がよく噛んでいる傾向がある。

よく噛む	369
どちらともいえない	725
よく噛んでない	163



【都民の知識と行動指標3】

ゆっくりよく噛んで食べるようにする者の割合を増加させる。

○ゆっくりよく噛んで食べるようにする者の割合

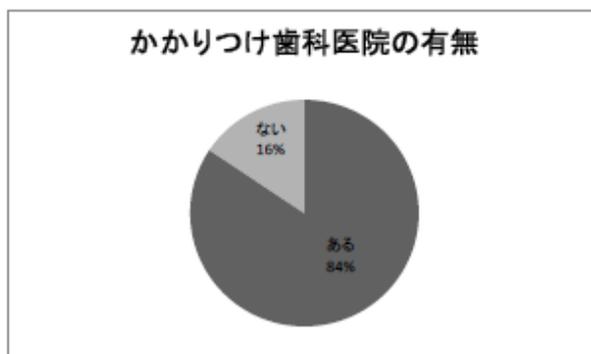
	目標
9歳	増やす

【資料】幼児期・学齢期の歯科保健行動に関する調査報告（平成21年度）

<資料9 学齢期の現状>

◎小学校4年生のかかりつけ歯科医について（小学校4年生アンケートより）
8割5分のお子さんがかかりつけの歯科医院を持っている。

ある	1066
ない	197



◎小学校4年生のかかりつけ歯科医で行っていることについて（小学校4年生アンケートより）
定期健診が一番多く、次にフッ素塗布、歯みがき指導の順になっている。洗口剤の指導は3%と少なくある。（複数回答）

定期検診	724
フッ素	528
歯磨き指導	440
シーラント	219
洗口剤	36
その他	156

